

# 第3回【書面開催】 小豆島ふるさと村全体整備基本計画策定委員会

---

## 島内学生ワークショップ 結果概要

### 【目次】

- 1. 島内学生ワークショップ概要・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2. 実施結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 3. まとめ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

# 1. 島内学生ワークショップ（ふるさと村ミライサロン）概要

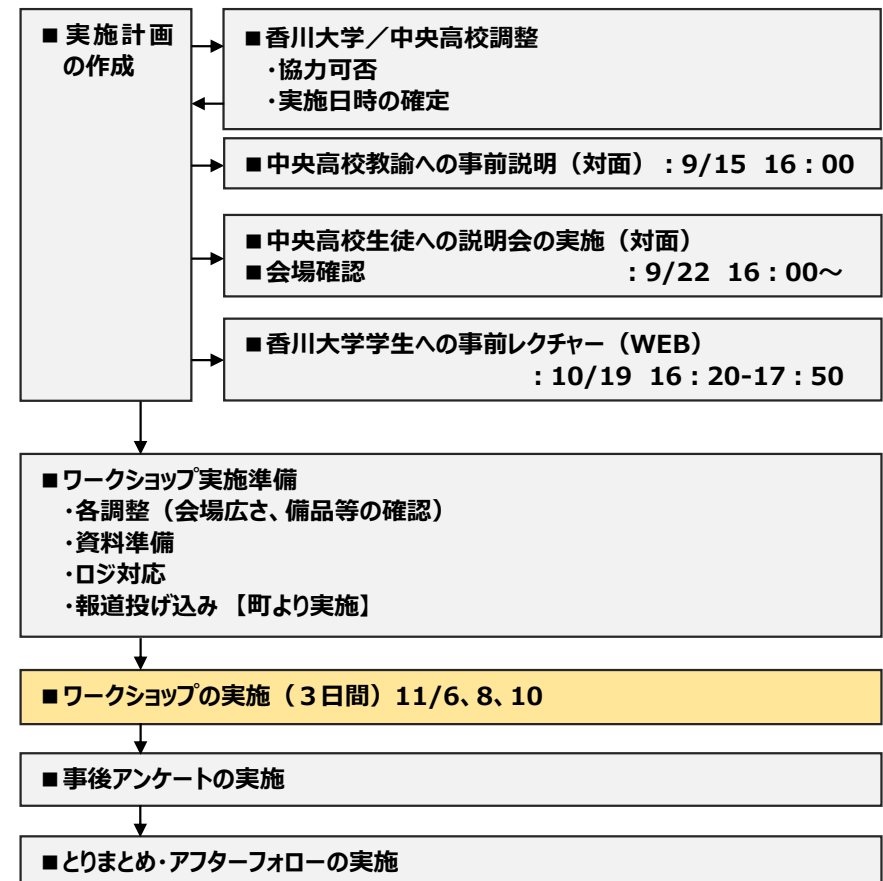
## ■目的

- ・小豆島の未来を担う若者の意見や想いを本計画に反映することを目的にワークショップを実施する。
- ・ワークショップをきっかけとして、若者との継続的な意見交換の場の土台作りを目指す。
- ・ワークショップでの意見は、島内の若者が考える課題・ニーズとして受け止め、小豆島ふるさと村全体整備基本計画の整備基本方針の導入機能の検討や地域連携イメージ等に反映する。

## ■開催概要

項目	内容
名称	ふるさと村ミライサロン
開催日時	令和5年11月6日（月）15:40～16:30 令和5年11月8日（水）16:40～17:30 令和5年11月10日（金）15:40～16:30
開催場所	・6日（月）：ZoomによるWEB会議 ・8日（水）：小豆島中央高等学校 4F会議室 ・10日（金）：小豆島中央高等学校 4F会議室
開催方式	・グループワーク形式 ・グラフィックレコーディングにて記録（OC今野）
参加者	・香川県立小豆島中央高等学校の生徒 <b>計18名：5班</b>
全体進行・モデレーション	・OC今野（1・2日目）、OC芦田（3日目）
テーブルファシリテーション（2日目のみ）	・原先生のゼミより、経済学部3年生3名 ・西成先生のゼミより、小豆島出身の4年生1名 <b>→香川大学生計4名の参加</b> ・OC芦田

## ■実施フロー



## 2. 実施結果

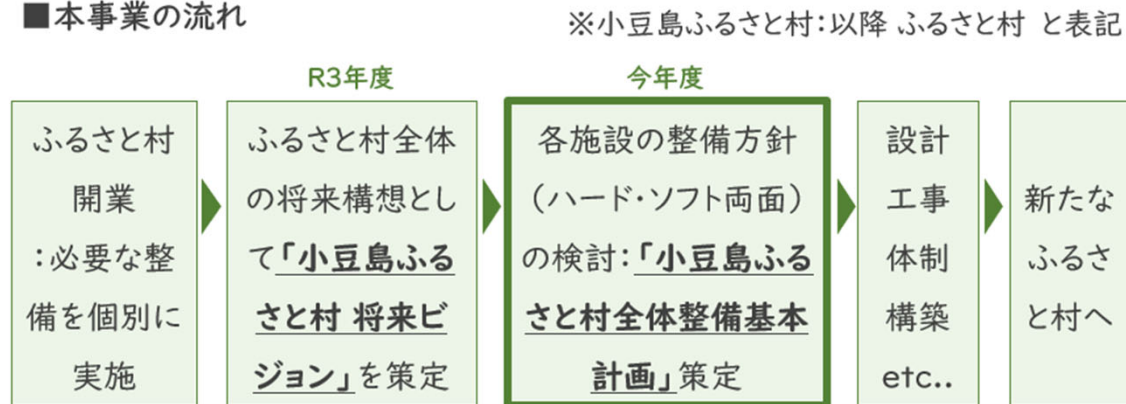
### ■ワークショップ実施結果

#### ○第1回ふるさと村ミライサロン（オンライン）

- ・ワークショップ開催趣旨の説明、小豆島ふるさと村の現状・抱えている課題等の情報提供を実施
- ・グループワークの内容の説明や、マインドセットの実施

### 3. ワークショップ開催趣旨

#### ■本事業の流れ



今年度は、「小豆島ふるさと村全体整備基本計画」の策定に向け、地元関係者の意見、民間事業者の意見、地域の若者の意見などを聞き取り【調査】、ふるさと村の具体的な今後の方針を検討【計画】しています。

#### 5. 第2回サロン(グループワーク)の内容

##### 小豆島町に住み続けたい

ここで働きたいと思える場所になるには  
どんな場所でどんな事が必要ななど  
自分事として捉え、様々な意見・アイデア  
を出し合ひましょう

##### ★宿題★

当日はじっくり考えるほどの時間が無いので、どんなことが考えられるか、イメージしてきてくださいね



“ポジティブ・前向き”

“夢を語ってよい”

“人が幸せになるもの”

“わくわくすること”

“遠慮せずたくさん出し切る”

人の話を聞いてリアクション 人の意見やアイデアを否定しない  
グループワークだからこそ出てくるアイデア、コラボレーションがあります  
全員で楽しむ気持ちで取り組みましょう

## 2. 実施結果

### ■ワークショップ実施結果

#### ○第2回ふるさと村ミライサロン（高校教室にて対面実施）

- ・香川大学の学生4名が参加した。
- ・班名くじ、自己紹介などをしてグループワークの準備・アイスブレイクを実施した。
- ・グループワークでは、班に分かれ、ふるさと村を中心として「できたら良いこと」、「あったら良いもの」などを話し合い、班毎にとりまとめた。

#### 5. グループワーク

##### 【テーマ①】

##### ふるさと村で「できたらよいこと(過ごし方、地域との連携)」

- ➔自分だったら、こんな過ごし方をしたい
- ➔島外の人には、こんなことをしてほしい
- ➔近くの〇〇と一緒にイベントをしたい などなど

##### ★各自、思いつくことを付箋に書き出しましょう【3分】

→一つ、二つではなく、思いついたことをなるべくたくさん書きだしましょう

##### ★書いた内容を一人ずつ発言してもらいます【7分】

→他の人の話を聞きながら、思いついたことはどんどん追加で書いてOK



▶テーマ①で10分とります



## 2. 実施結果

### ■ワークショップ実施結果

#### ○第3回ふるさと村ミライサロン（高校教室にて対面実施）

- ・第2回にてとりまとめた内容を、班毎に発表し、質疑応答を行った。
- ・発表内容をまとめたグラフィックレコーディングを用いて、ワークショップの総括を行った。



## ■ワークショップ実施結果（まとめ）

- ・学生の意見を、「すごし方」、「ソフト」、「ハード」の視点で整理した。
- ・ワークショップの満足度は高く、アンケート回答者(不参加者除く)の100%が「とても満足」と回答した。

### 【学生意見とりまとめ】

項目	内容
すごし方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客だけではなく、島内の人々が利用できる場</li> <li>・合宿や打ち上げなどで交流し、仲良くなる場</li> <li>・子どもや若い人の気軽な学びの場</li> <li>・様々なアクティビティや運動を楽しめる場</li> <li>・自然を感じてリラックスできる場</li> <li>・ここならではの食事ができる場</li> <li>・寝転びながらゆっくり勉強ができる場</li> </ul>
ソフト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本格的なクリスマスマーケット</li> <li>・屋外の音楽フェス、ライブイベント</li> <li>・ふるさと村を象徴するキャラクター</li> <li>・球技などのスポーツの大会</li> <li>・手ぶら釣り・魚突き・オリーブ収穫等の体験</li> <li>・収穫した食べ物の料理教室や学びの場</li> <li>・地場産品を使ったイベント、フードフェス</li> <li>・バスの増便などの移動手段の確保</li> <li>・島民割・学生割</li> </ul>
ハード	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雨の日も利用可能なハンモックやソファなどがある、海辺・芝生のスペース、ナイトシアター</li> <li>・セグウェイのような移動手段</li> <li>・トロッコなどの村内移動手段</li> <li>・しょうゆ樽ゴーカート、ジップライン、アスレチック等のアクティビティ施設</li> <li>・島産品を味わえる食事処やBBQなどの飲食施設、フードコート</li> <li>・ロケーションを楽しめるジム</li> <li>・島民も利用できる温泉・温浴施設</li> <li>・島民も活用できるレンタルスペース</li> <li>・Wi-Fi環境の整った勉強場所・休憩施設（高校生が普段使いできる施設）</li> </ul>

### 【アンケート意見（抜粋）】

- ・島をより良くしようとみんなで考えてどんどん夢が広がっていく感覚がとても楽しかったです。
- ・友達と一緒にどうすればふるさと村がより良くなるのかについてたくさん話し合って案を出すのが楽しかったし、他の班の人たちの意見を聞いて、そういう案もあるのかと、考えたりして面白かった。
- ・今回出した案が実現するところを想像すると、わくわくしました。
- ・自分の今までの経験や、思ったことを素直に話せる場所だった。
- ・小豆島のためにみんなで意見を出せたので、少しでも小豆島の未来に貢献できたと思う。
- ・楽しい雰囲気意見が出しやすかった。
- ・大学生などたくさんサポートしてくれる人がいて意見を出しやすかった。
- ・高校生でも楽しめるような設備をつくっていただきたいです。
- ・大人の人と一緒に意見を考える場面があまりなかったのととてもいい経験になりました。
- ・ふるさと村はとても良いところですが最近に行く機会が極端に減っていると個人的に思います。だからもっとなにか活動ができたり、交流ができたり、趣味に使えたりなどすれば、行く機会が増えると思うので、このワークショップで出た意見が一つでも反映されたら良いなと思います。